

国際観光学科

科目名: 海外インターン実習事後指導				担当教員 氏名: 藤本 幸男、米田 晶、齋藤 望、Victor Raquid Vibal					
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
1	1年次	後期	専門科目	講義	必修				
実務経験を用いてどのような授業を行っているか: 過去の海外インターン派遣経験や、オーストラリア現地企業の実態を踏まえたうえで、学生の成長に最も効果的な授業を行う。									
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード			
実習終了後、4日間の集中講義で振り返りを行う。具体的には、事前に設定した自らの目標に対する、成果と反省をまとめ、グループディスカッション、指導教員、現地駐在教員等の指導を受けながら今後、1年間の短大での課題、自らの進路等について新たな目標設定を行う。						強味、弱みの把握、進路、新しい挑戦			
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			1、2、3、4、5、8						
C 論理的思考力			オーストラリアでのインターンで得た情報、知識、経験を複眼的、論理的に分析し、表現できる。						
D 問題解決力			オーストラリアでのインターンや今後の進路について、問題を同定し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を確実に解決できる。						
H コミュニケーション力			言語や身体を用いて自己・他者に理解を深めコミュニケーションができる。						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	50 %	発表:	50 %	実技試験:	%	その他:	%
特記事項: 2月3日～8日までの集中講義									
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 <u>ディスカッション</u> <u>ディベート</u> <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: インターン実習の総括レポート作成、その発表									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 発表の後、指導教員、学生によるディスカッション。									
授 業 計 画					準備学習(予習・復習等)				
					学習内容	学習に必要な時間(分)			
①集中講義1日目(1) インターンの成果と反省(自らの3目標に対する自己評価)					集中講義2日目の準備	60分			
②集中講義1日目(2) インターンの成果と反省(自らの3目標に対する自己評価)					集中講義2日目の準備	60分			
③集中講義1日目(3) インターンの成果と反省(自らの3目標に対する自己評価)					集中講義2日目の準備	60分			
④集中講義1日目(4) インターンの成果と反省(自らの3目標に対する自己評価)					集中講義2日目の準備	60分			
⑤集中講義2日目(1) 成果と反省の発表					集中講義3日目の準備	60分			
⑥集中講義2日目(2) 成果と反省の発表					集中講義3日目の準備	60分			
⑦集中講義2日目(3) 成果と反省の発表					集中講義3日目の準備	60分			
⑧集中講義2日目(4) 成果と反省の発表					集中講義3日目の準備	60分			
⑨集中講義3日目(1) ディスカッション「人間的な成長」					集中講義4日目レポート準備	60分			
⑩集中講義3日目(2) ディスカッション「海外で働く」					集中講義4日目レポート準備	60分			
⑪集中講義3日目(3) ディスカッション「英語力」					集中講義4日目レポート準備	60分			
⑫集中講義3日目(4) ディスカッション「英語力」					集中講義4日目レポート準備	60分			
⑬集中講義4日目(1) グループワーク①					集中講義4日目レポート準備	60分			
⑭集中講義4日目(2) グループワーク②					集中講義4日目レポート準備	60分			
⑮集中講義4日目(3) レポート作成「2年次へ向けての新たな目標」						60分			
使用テキスト: なし					その他参考文献など:				
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): ほかの大学生ができないような、せつかくの海外インターンを経験したのです。2年次へのモチベーション、さらには自分の進路に挑戦的に向かっていけるふりかえりにしてください。									